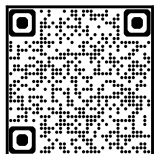


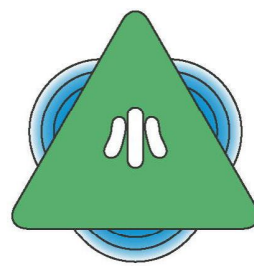
鳥 海 の 子

HP
用
コ
ード

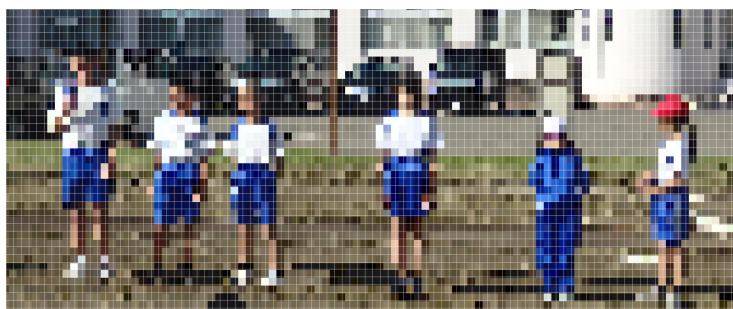


～明るく・かしこく・たくましく～

令和8年度 学校報 No.26 文責 校長 吉田 哲哉
コミュニティ・スクールだより
由利本荘市立鳥海小学校 令和8年10月30日



「自分に負けないぞ!」という強い気持ちを感じることができた“マラソン大会”



【自分や仲間の走りを振り返って感想を伝える代表者】



【男女別に1位をとった人たちの紹介↑↓】

天高き秋空のもと、澄みきった空気に肌寒ささえ感じた人もいるくらい、久しぶりの快晴の中で子どもたちは自分で立てた目標を達成しようと、一人一人本当によく最後まで走りきりました。感想発表においても、「今度は入賞したい」「絶対1位をとりたい」と力強く語っていました。

給食時に賞状伝達をした際、各学団部において男女それぞれ第3位まで紹介しました。その日、中学校に福島県いわき市の中学生が20人ほど交流目的で来ており、一緒に給食を食べている時でしたので、子どもたちはいわき市の皆さんからも健闘を讃えるたくさんの拍手をいただきました。

児童数減少に伴い、「低・中・高」の学団部ごとに男女一緒に走り、記録は男女別に扱う競技の仕方、及び入賞者の決め方をしばらくは続けていく方向であります。この行事のねらいは、「走ることが好き、得意という子を更に伸ばすこと」と「辛くても歯を食いしばって最後まで粘り強く取り組もうとすること」です。子どもたちは、ゴール付近で一生懸命に声を張り上げて応援し、自分より速かった人のがんばりを心から讃え、順位や記録は振るわなくても諦めずに走りきった人のがんばりを認め労っていました。風を切ってスピードを落とさずに走る姿、苦しくてもゴールを目指して懸命に走っている姿、ありったけの声を出して仲間を応援している姿、そこにはたくさんの感動がありました。保護者、ご家族の皆様からの熱い応援も子どもたちの気持ちを奮い立たせてくれました。たくさんの応援に感謝いたします。ありがとうございました。

この日、保育園児も応援に駆け付けてくれて、「がんばれ～、がんばれ～」と目の前を通過していくお兄さん、お姉さんたちにエールを送ってくれました。その後保育園では、「ぼくも一緒に走りたいかった。」と、毎日園庭を走る子が増え、何周も走った証としてシールをもらい、先生方が作ってくれたカードに貼って励みにしているとのことでした。



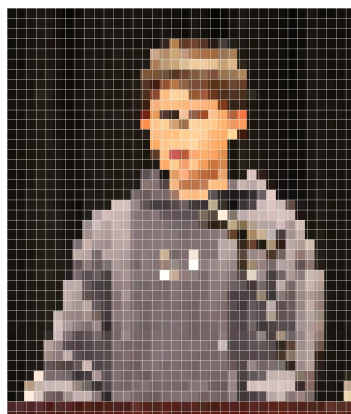
「家族のきずなエッセイ」2名が受賞

☆ にかほ市教育長賞

6年 ***** さん
題名「とん汁みたいなお父さん」

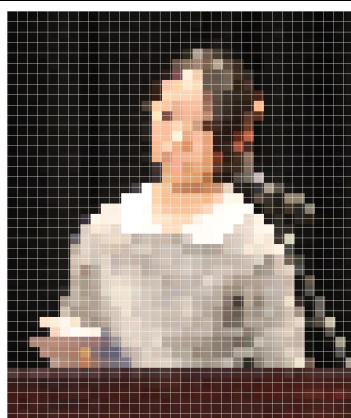
☆ 優 秀 賞

5年 ***** さん
題名「最高のじじ」



これからの季節、ぼくが愛してやまないのは、お父さんお手製の具たくさんとん汁です。スポ少帰りは外が寒く、冷えた体と手には豚の旨味が濃縮され、大根に味噌がしみしみになったとん汁がとっても美味しいです。ぼくのちょっとしたこだわりは、一味とうがらしをかけて、熱々の内に食べることです。食べていると、体だけでなく心まで温まり、やさしい気分にしてくれるのが、とん汁です。とん汁のまろやかさ、一味とうがらしのピリッと感、まるでお父さんを表しているようです。

一生けんめいに勉強やスポ少をしている時にはやさしく見守ってくれ、大会の時などには、全力で応援してくれたり、アドバイスをくれたりします。でも、時にはとうがらしのようにしかってくれることもあります。しかしそんなとん汁と、とん汁みたいなお父さんを尊敬しています。



私のじじは、ほとんど毎日畑仕事をがんばっています。今は、たばこをメインに農業をやっている、そのほかに野菜も育てています。ばばもいっしょに農業をやっていますが一時足をけがしてしまい、じじが一人で作業をやっていたことがありました。

じじとばばは、私のためにメロンやスイカ、トウモロコシなどを毎年作ってくれます。私は、おいしい野菜を作ってくれてうれしいです。農作業はどうしても外での仕事になります。畑の周りは木も多く、クマのことが心配です。夏の暑さも気になります。

すが、いつもがんばってくれているんだなと感じています。

私の家の座しきに行くと、たばこ仕事の賞状がたくさんあります。改めて、じじの仕事はすごいなあと思いました。でも本当にすごいのは、どんなにつかれていても、私としょうぎで遊んでくれたり、ダジャレで笑わせてくれたりするところです。私を元気にしてくれる最高のじじです。



返事や発表時の声、表彰時の立ち居振る舞いも大変立派な二人でした。おめでとう！